～宮大生のための海外渡航～

オタゴ大学ランゲージセンター留学報告

農学部・研究科　森林緑地環境科学科　1年　（氏名　落合恵美）

〇派遣：ニュージーランド・オタゴ大学ランゲージセンター

〇派遣期間：　2014 年　8 月　19 日　～　2014 年　9 月　22 日

〇渡航時の学年：　1 年次

〇渡日前の手続について

・参加に至った経緯について：

将来海外でのボランティア活動に参加したいと考えているので、語学留学を希望していました。友達にこのプログラムの話を聞き、参加することを決めました。決め手になったのは、夏休みの間であること、ホームステイができることです。私は農学部に所属していて、夏休みを留学に使えるのは 1 年生の間だけだと思い、この時期を選びました。

・渡航に関する手続について：

留学の申し込みのほとんどを大学側にしていただきました。例えば、語学学校の授業料やホームステイに関すること、航空券手配も助けてもらいました。

渡航に必要なものはパスポート、海外旅行保険への加入です。海外旅行保険に関しては、色んな保険会社があるのでインターネットで調べて自分がいいと思うものに加入するといいと思います。

・査証取得：

なし

★体験記：

〇生活費：

渡航費用は往復で 20 万円ほどかかりました。ニュージーランドで使うお金は、ホームステイ先から語学学校までのバス代と平日の昼食代です。バス代は私のホームステイ先から語学学校までの往復で 1 日 5 ドル（約 450 円）使いました。バスカードと語学学校の学生証を使って少し安くなりました。昼食はカフェだと高いので、スーパーで買ったインスタント麺やパンで安くすませました。スーパーで昼食を買うなら、一週間で 10 ドル（約 900 円）も使わないと思います。

〇ホームステイ先の環境：

私のホストファミリーは老夫婦で子供は成人しているので家にはいませんでした。ファザーもマザーもとても陽気でやさしい夫婦でした。近くに娘さんの家族が住んでいたので、よく家に来て賑やかでした。それからニュージーランドに来て2週間ほど同じ語学学校に通う中国の女性も一緒にホームステイしていました。とても親切で、バスや買い物のことをたくさん教えてくれました。私のホームステイ先の部屋にはベッド、机、タンス、パイプハンガー、暖房器具がありました。食事に関しては、ホームステイ先が食事を準備してくれるのは平日の朝食と夕食、土日の3食と決まっています。朝食はトーストやコーンフレークを準備してもらいました。夕食はホストマザーの手料理で、とてもおいしかったです。

ホームステイ先の家からの眺めです。
〇大学のサポート状況：
宮崎大学の国際連携センターの方にほとんどの手続きをしてもらいました。また相談にも答えてもらいました。去年同じ留学に行った先輩方のアドバイスをたくさん聞けたのでとても助かりました。留学に関する

〇授業の様子：
最初に簡単なテストを受けて、その結果でクラス分けされました。私のクラスは１２人程で、中国、韓国、サウジアラビアなどから来た生徒がいました。アットホームな雰囲気で、先生も分かりやすく説明してくれました。授業の中では、グループを組んで意見を交換したり、お互いに答えを話し合う機会が多くありました。授業で映画鑑賞をしたり、天気のいい日に学校近くの植物園に行きました。宿題はテキストの復習と自分が好きな題名で文章を書くものがありました。毎週月曜日に先週の内容の確認テストがありました。

上の写真は私のクラスメートと先生です。
〇他の留学生たちの様子：
１番多いのが中国で、次にサウジアラビアの留学生が多く感じました。ブラジルやインドから来ている人もいました。みんなとても社交的で積極性がありました。中国とサウジアラビアの人は特に明るくて、話しやすかったです。様々な国の文化がたくさん聞けるのでとても楽しかったです。

〇現地学生との交流：
現地学生との交流はまったくありませんでした。

〇街の様子：
オタゴ大学の学園都市の中にランゲージセンターがあり、徒歩15分程で中心街に行くことができます。街並みはブリティッシュな雰囲気で歴史的な建物が多く残っています。買い物は学校から徒歩ですませることができます。スーパーマーケットやお土産屋さんもあります。飲食店や洋服店もたくさんありました。中心街の近くにはダニーデン駅という世界でも有名な美しい駅があり、チョコレート工場もあって放課後に観光することができます。

この写真はジョージストリートです。ショッピングができます。

〇その他：
ダニーデンの冬はとても寒いので厚手の上着が必要です。マフラーや手袋もあった方がいいと思います。
日本から参考書を持っていく必要はないと思います。授業で単語を習うので電子辞書がいります。
コンセントの変圧器と変換プラグが必要です。
携帯電話とパソコンについては、ランゲージセンターに Wi-Fi の環境があるのでインターネットが使えます。

〇今後、海外渡航を希望する宮大生のみなさんへ
私は海外留学で大事なことは、とにかく人と英語で話すことだと思いました。発音や文法の間違いに気付くには、ネイティブの人と会話するのが一番効果的だと思います。私にとっては語学学校の担任の先生が特に話しやすかったです。それから、海外の友達をつくると日本に帰国した後も英語で連絡を取り合うことができるのでいいと思います。
最後に、費用はかかりますが行く価値は十分あると私は感じました。1ヶ月で英語力を上げるには限度がありますが、英語で様々な国の人達と会話できるので、楽しく英語を勉強できます。英語が嫌いな人も英語を好きになるきっかけになるのではないかと思います。